



## 中央アジア地域ニュース

### カザフスタン：国内経済におけるイノベーションの必要性 (2月20日付インターファックス・カザフスタン)

1. サブデン教育科学省経済研究所所長は、議会関連会合でカザフスタン経済の停滞について懸念を表明し、イノベーションの必要性を主張した。
2. ダボス会議でのデータによれば、カザフスタンの国際ランキングは、各種指標において後退している。  
競争力に関する指標：56位(2006年) 61位(2007年)  
ビジネス発展のための条件に関する指標：72位(2006年) 85位(2007年)  
保健分野におけるイノベーション指標：86位(2006年) 94位(2007年)  
新技術導入に関する指標：74位(2006年) 84位(2007年)
3. 今日カザフスタン企業は、外国の技術、製品、大量生産方式を模倣し、彼らに追いつくための戦略をとっている。しかし、企業は設備の老朽化のため、発展が困難になっている。消耗率は70%に達する。したがって、国内経済発展のためには、イノベーション導入の水準向上が不可欠である。
4. しかし生産業における広範なイノベーション導入には、契機となる刺激が欠如している。国家予算から技術革新のために計上された約8千万テンゲ(1テンゲ 1円)の内訳は、主要部分が設備購入に充てられており、調査・リサーチに12%、新技術の開発には2%が充てられているだけである。